

いだろう。

そしてTシャツにはQRコードを刷り込む。電子マネーで普及した「QRコードをスマホで写す」アクセス方法は応用性の高い有効な情報頒布のメソッドだ。

QRサイトには蟹工船の解説、小説、小林多喜二の生涯についての解説を配置する。

近年描かれたマンガを読めるようにしてもいい。さらに映画『蟹工船』（1953年／パブリックドメイン）もある（新作もあるが）。

『ゴジラ』（1954年）に代表される一連の東宝特撮で知られる伊福部昭が音楽監督を務めており、マニアには無償



▲映画『蟹工船』

の映画コンテンツを配信すれば話題になるだろう。

1枚のTシャツを着て歩き、QRコードを撮って貰うことで広がる労働と社会問題の提起。

1933年、特高警察による不当逮捕と拷問により29歳で落命した小林多喜二の作品と党生活者の活動を語り継ぐために、Tシャツを着るのだ。

華氏451 本を着て歩くTシャツブランド

TシャツのQRコードで手に入れる電子書籍／コンテンツ。

自分の支持する作家や作品、事象の歩く広告宣伝塔となつて広げる本の頒布システム。

この活動スタイルに「華氏451」というブランド名をつけることにした。

SF作家レイ・ブラッドベリによる同作は、政府により

ころから始まったファッションだ。そこからロック音楽、映画、サブカルチャーの絵柄が好まれて世界中に広がっていった。アピールメディアとしての遺伝子を内包しているのだ。

QR×Tシャツ×QTee

小説／書籍だけでなく、映画の本編や予告編、音楽、おもちゃ、スポーツ、グルメ、思想宗教信条。

それぞれが愛して止まない事象を着て歩く。ブランドQT、プリセットQTも出そうと思う。めいめに画像や動画をアップロードし、そのTシャツを着て歩きリアルな出会いを通じてアップされた内容を広める。

音楽フェスの記念QTではメインタイトル動画や出演者のセットリストがプリセットされ、そこに会場で自分と仲



間が撮影したスナップや動画を追加保存することができる。フェス後にTシャツを着ればいつでも感動をプレイバックできる。観光地の名景や動画のみやTシャツに家族や仲間との記念画像・動画を保存してもいい。

応用としては落語の演目解説と動画QRを添えたてぬぐい、こどもの離乳食メニューへのアクセスQRを添えたエプロンなども作れる。

書籍の所有や読書を禁じられた未来世界と焚書専門摘発警官としてのファイヤーマン（本来は消防士の意）が、ある時、読書のすばらしさに気がつき、やがて政府の監視がおよばない森に逃げてブックピープルとなる物語だ。



▲小説『華氏451』



▲映画『華氏451』

本の保護者。ちなみに華氏451とは焚書で焼かれる紙の燃焼温度のことだ。

そもそもTシャツとは1960年代、米国でのベトナム反戦デモで大学生たちが下着にメッセージを書いたと

着衣または携行する繊維製品にQRコードを刷ることで、スマホの中の「どこか」に収めたネットのアドレスへのアクセスを手軽にしようという企画となった。

同人工房としてのファクトリー書店

書店でTシャツを売る時には大きな弱点も存在する。

それはボディの色とサイズだ。

こどもと男
女を考えると
S・M・L・

XLの4サイズとカラーは白・黒・赤・黄など——4色の品揃えが必要。ひとつの絵柄について16バリエーションを用意しなければならぬという弱点がTシャツ市場には存在するのだ。

ならばヒートプレス機をおき、ストックされた無地のボディと購入した図柄のDTFシートをその場で熱圧着させて商品を手作りする。

コンビニと同じ複合機や特殊加工機、オンデマンド印刷機なども置こう。

来店前に送信しておいた画像データを加工して同人誌や